



この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

平成29年12月末日 発行

やまびこ

No.247

発行

公益社団法人
埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 村山 勇治

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-15-3 母子福祉会館内
Tel. 048-833-0444 Fax. 048-833-0400
E-mail:saitama@ikuseikai.jp
ホームページ <http://saitama.ikuseikai.jp>

定価50円
(購読料は
会費に含む)

障がい者の文化芸術 国際交流について



理事長
村山 勇治

明けましておめでとうござい
ます。本年も引き続き育成会活動に
ご支援、ご協力をお願い申し上げ
ます。

今年は戌年。どんな年になるの
でしょうか？ 戌年生まれの人と
同様に、誠実で真面目、堅実な年
であって欲しいものです。

一昨年、神奈川県相模原の施設
での世間を震撼させた事件以後に
おいても、障がい者に対する虐待
案件や痛ましい事件が続いてい
て、新聞やテレビでたびたび取り
上げられている現状にあります。
平成30年の今年、いかなる場
においても、虐待案件が減り、耳を
疑うような事件の報道に接するこ
とのない年であって欲しいと切に
願う次第です。

さて、ここ数年、障がい者ア

ート、アールブリュットの活動が広
がりを見せ、各地でその作品展が
開催されるようになってきていること
はご承知の通りです。

2020年東京オリンピック、
パラリンピックの開催が決まっ
てから、組織委員会においてスポー
ツに限らず、障がい者による文化
芸術活動への積極的な取り組みが
始まっています。

昨秋10月19日から26日まで、フ
ランスのナント市において開催さ
れた文化庁委託事業、2017日
本×フランス障がい者の文化芸術
国際交流事業「ジャパン×ナント
プロジェクト」に、全国手をつな
ぐ育成会連合会も実行構成団体の
位置づけによって応援ツアーを募
ることとなり、日本から400名
を超える応募者とともに、私もそ
の一員として参加してまいりまし
た。

会場となったフランスの地方都
市ナント市は、首都パリから車で
5時間、主力産業の造船業が衰退
し、町おこし対策として打ち出し
た文化芸術の町が、今や世界的な
文化芸術創造都市に変貌し、加え
てフランス国で一番住みたい町と
して評価されているようです。

この町にあるフランス国立現代
芸術センターで、日本のアールブ
リュット作家40名の作品を展示、
「KOMOREBI」展のオープ
ニングは、平日にもかかわらず大
盛況、この国の人々の文化芸術に
対する関心の深さにさすがと言
うほかありませんでした。

また、国際会議センターでは日
本の障がい者による優れた舞台芸
術、瑞宝太鼓、石見神楽、湘南ダ
ンスワークショップ、じゆう劇場
の4つの団体が公演し、いずれの
公演も盛況で、とりわけフランス
渡航直前に秩父市において壮行公
演を行った瑞宝太鼓のパフォーマ
ンスは、複数回の公演全てが満員
状態となり、終了時には毎回スタ
ンディングオベーションをもって
称えられ、いつまでも大きな拍手
が鳴り響いていました。

カーテンコールで舞台上に整列、
客席に向かって飛び切りの笑顔を見
せる彼らを見るにつけ、今や紛
れもなく、日本の誇り、そんな存
在にまで進化した「瑞宝太鼓」に、
応援ツアーの私たちにとっても誇
らしく、胸を熱くする思いをいた
しました。

権利擁護推進事業部主催
研修会に参加して

白岡市手をつなぐ親の会会長

松本 博子

「グループホームから考える」
～親と本人の高齢化、医療、終末期etc.～

日時 平成29年10月13日(金)

10時～12時

会場 埼玉会館7B会議室

講師 又村 あおい氏

〔全国手をつなぐ育成会連合会
政策センター委員・手をつなぐ編集委員・
(公社)日本発達障害連盟
発達障害白書編集委員・J-Lニュース編集長〕

第2回目の研修会も、講師を又村氏にお願いして「グループホームから考える」というテーマでお話していただきました。今回も大変好評で、申込み締切前に定員オーバーとなり、参加できなかった方も多くいました。

第1回目と重複するような形になりますが、障害区分の重い人も、ヘルパーを利用してGHで生活できること、また常時介護を要する障がい者への支援として、一人暮

らしを希望する場合、一定期間定期的な訪問を受け、支援を行う「自立生活援助」というサービスも受けられるというお話でした。

前回の研修会でもGHを立ち上げるのは大変という話がありましたが、私たちの白岡市親の会でも以前「親元から離して暮らせる施設を」という話があったものの、親たちが若かったこともあり、立ち消えとなってしまいました。

今回の話の中にも「30年後の安心」とあり、やはり小さな種に水をやり、肥料をやって花や実になるとあらためて思いました。また、作ってからも最初は携わり、その後を任せる、支援者に親代わりを求めすぎないなど、注意点も多々ありました。

現在は障がいの有無に関わらず、終末期は医療機関へ移されなくなるのがほとんどだと聞き、今後は障がい者施設やGHが終の住処になることが早くできるよう切望します。しかし、親が自宅で老いる限り、自分の心配をしなくてはならないという現実もあるため、今から少しずつでもこつこつと「水」や「肥料」をやり続けていきたいなあと思っています。

埼玉県知的障害者相談員
地区研修会に参加して

上尾市手をつなぐ親の会

藤沼 芙美

「相談員のいろは」
～困った時のパートナーになるために～

日時 ①平成29年10月23日(月)

②11月1日(水)

③11月10日(金)

いずれも10時～12時

会場 ①東松山市松山市民

活動センター小会議室

②熊谷文化創造館

さくらめいと会議室4

③埼玉会館7B会議室

講師 山路 久彦氏

〔社会福祉法人みぬま福祉会さいたま市大宮
区障害者生活支援センターみぬま管理室〕

11月10日に埼玉会館で行われた研修会に参加しました。講師・山路久彦氏によるお話は、とても分かりやすく、具体例を交えながらの内容は非常に勉強になったと同時に、身につまされることが多く、相談員としてあらためて身の引き締まる思いでした。

知的障がいの子と共に暮らしていると多少なりとも問題を抱え、早く解決したいと願いながら、その術が見つからず一人で悶々と日々を過ごした…。誰もが一度は経験したことではないでしょうか。そんなとき思いの丈をじっくり聴いてくれる人が一人でもいてくれたら、良い関係性を保ちながら共感したり、時には励ましたりしてくれる人がいたら、100%解決はしなくても心の内は少し軽くなって落ち着いてくるでしょう。整理もできるでしょう。必要であれば、福祉サービスをどのように利用したらいいか、さまざまな相談窓口を紹介したり、一緒に行ってサポートしたり…。

これが相談員の基本的な役割なのだ、とお話しを伺って実感しました。

一人で抱え込んでしまったときの孤立感・疎外感は想像に難くなく、自然体で寄り添っていくことができれば、少しでもお役に立てたかなと思えるかも知れません。相談はいつもある訳ではありませんが、今回の内容を肝に銘じて頑張ってみようと思います。ありがとうございます。

第4回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会に参加して

さいたまみんなの会会長

横山 正明

第4回全国手をつなぐ育成会連合会

全国大会(北海道札幌大会)

日程 平成29年9月23日(土)

～24日(日)

会場

ホテルロイトン札幌

かでの2・7 ほか

まだ暑さが残る中、全国大会の本人大会に参加しました。午前中に分科会を見て回り、発表者や参加者から「結婚したら、好きな人と旅行に行きたい」「過去にいいめにあい、とても辛くて泣いた」「お仕事して給料が出たら、好きなものを買いたい」などの話を聞いていましたが、私も彼らと同じで、できれば自分の希望に叶った生活がしてみたいと思いました。午後は、昨年7月に起こったやまゆり園での障がい者殺人事件を議題にしたシンポジウムが行われ、「我々がなぜ殺されなければならぬの?」「とても悲しい事件だった」「犯人を絶対に許さない」など、参加者から多数の気持

ちが聞けましたが、私も障がいのある人の気持ちを大切にできる社会に変えない限り、惨劇が繰り返されると思っています。

夕方の交流会はたくさんの方々が参加しましたが、久しぶりに会った友達や、初めて出会った人と酒を交わしながら、記念撮影などをして交流会を思いおもいに盛り上げていきましたが、私も古くからのお友達と再会できてとても嬉しかったです。

今回は、本人活動マニュアル本作りのインタビュー調査を兼ねて参加しましたが、数多くの知り合いができてとても楽しかったです。

来年は京都で開催されますが、京都は私の西の庭なので、または是非参加して楽しみたいと思います。



交流会にて、全国の仲間と!



マニュアル本作りのインタビュー中

平成29年度 在宅重度心身障害児者療育援護 (療育キャンプ)事業 実施報告

久喜市栗橋手をつなぐ育成会

会長 桜井 直美

日程 平成29年8月21日(月)

～22日(火)

会場

長野方面
(茶臼山動物公園等)

実施

久喜市栗橋手をつなぐ育成会

8月21日、22日に、長野方面に行ってきました。参加者27名に加え、今年は3人の特別支援の教員を目指している大学生が加わってくれたので、例年以上にパワーアップしたキャンプとなりました。

まずは、バスの中で自己紹介と、キャンプで楽しみにしていることの発表。その後はDVDを見ながら、メタボの研修。視聴後には、決意表明のような感想がたくさん。

そして、茶臼山動物公園へ。のんびり見学と思いきや、グループ行動がなかなかの難。見たい動物の前で止まってしまおう子、それに気がつかずどんどん進んでしま

他のメンバー。「あれ? Aちゃん、いないよ」坂道を汗をかきかき探していました。声を掛け合う必要性を、身をもって実感できた動物園でした。

夜は、待ちに待ったレク。まずは、歌とダンスが大好きな青年B君。そこに、いつもの賑やかなメンバーが舞台の上に集まってきました。すると、いつもは恥ずかしがり屋のC君とD君兄弟まで:参加者みんなが入り混じって関わり合いながら、歌とダンスが最高潮に。本当に、夢のようなひとときでした。

次の日も和気藹々の中で時間が流れ、最後の感想発表では、一人ひとりがその人らしく、楽しかった思い出を語ってくれました。



みんなでソリソリ歌とダンス!

そこが知りたい勉強会 障害者相談員全体研修会 に参加して

副理事長 高野 淑恵

「知ってほしいな私たちのこと」
知的障害疑似体験

日時 平成 29 年 12 月 8 日(金)
10 時 ~ 12 時

会場 埼玉県県民健康センター
大会議室 A・B

講師 矢野一隆氏
(たつの市手をつなぐ育成会会長、
ぴーす&ピース代表)
上林彰代氏(ぴーす&ピース)

啓発はあくまでも一般社会の人たちが対象です。知的障がいの特徴を何も知らない人たちにどう伝えるか、どう説明すれば理解してもらえるのか、私たちにとって悩みの多いテーマです。

ぴーす&ピースの啓発の特徴は何と言っても矢野さんの「軽妙洒脱」な話術！そして、会場の人たちの気持ちをググッと惹きつけつつ、パワーポイントの斬新な資料と手作りの小道具でワークシヨップを次々と展開させていくところに醍醐味があります。

しかも、ただ「ああ、面白かった！」だけではなく、誰もが「そうだったのか！」と眼から鱗が落ちるような、実は大変具体的に客観的な論理がしっかりと組み込まれているのです。

二〇一七年十二月末日発行(二四七号)

「描いてみよう」「伝えてみよう」、「知的障がいの視点」特に自閉症のシングルフォーカス(一点集中)や音に対する集中(二音集中)、そして「味覚のシングルフォーカス」など、説明だけではなかなか理解できない知的障がいの特性を実際に体験することで理解できます。ああ、こういうふうの説明すれば、今まで無理解・無知識ゆえに偏見に囚われていた人とも分かり合えるかもしれない、とそんな希望の光がポツと胸の奥に灯る気がしました。

例えば「描いてみよう」では、「りんご」や「ボール」は誰でも描けます。でもそこには、こんな「🍎」やこんな「🏀」があり、それは一口に知的障がいと言われる人にもいろいろ人によって、いろいろな支援が必要と言うことに繋がります。「ちよつと」とか「ちゃん」となど、日常でよく使うけれど曖昧な言葉は、私たちも絵に描きにくくて戸惑いますが、知的に障がいのある人はもっともっと理解しにくく、戸惑っているのだと言うことを教えてもらいました。手作りの「ペットボトルめがね(?)」では、自閉傾向の強い我が子たちの視野を実際に体験でき、その視野の一点集中の度合いにビックリしました。「よく見なさい！」などと我が子を叱りつけた自分が恥ずかしくなるほどでした。指先がうまく使えなくて、うちの子、ぶきつちよさんだわ」と思っていました。実は軍手を2枚着けたような感覚だったことも体感しま

あとがき

ここ数年、大変と言わない。を新年の目標にしています。が、いつも果たせずにいます。大変なことばかりだから…

でも、今年も同じ目標に！大変なことなんて、吹き飛ばしたいから。

皆さんは、どんな目標でしようか？ 《広報部 吉野》



最初から最後まで大盛り上がりの研修会でした

した(息子よ、ごめんね)。

啓発は、大きなテーマですが、言葉の説明で理解してもらおうとすることには限界があります。体験を通して、実感してもらおうことの大切さを強く感じました。ぴーす&ピースさんのように素晴らしいワークシヨップはできなくても、みんなが「ひとり啓発隊」でも良いので、啓発を進めて、本当の共生社会が来るように楽しく頑張りましょうよ！と思うことができました。

それにしても、矢野さん上林さん、さすがです！爆笑の埼玉公演でした。

2017年度版

生活サポート総合補償制度

AIUの普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット)

被保険者 (補償の対象者) 知的障害児または自閉症児者がご加入できます。	補償期間 (保険のご契約期間) 2017年4月1日から1年間	掛金 入院2日目から補償プランB/ 掛金… 23,000円 (保険料19,810円) 入院4日目から補償プランA/ 掛金… 17,000円 (保険料14,810円)
---	--	--

詳細は取扱代理店にお問い合わせいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

保険のお問合せはこちら

■ 担当代理店 株式会社 ジェイアイシー 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774 受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)	■ 引受保険会社 AIU損害保険株式会社 東京第二支店 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階 TEL: 03-6894-9110 http://www.aiu.co.jp 受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
--	---

ご加入のお問合せはこちら
一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
連絡先はTEL又はホームページにてご確認ください。
TEL: 03-5577-6351
http://www.zensapo.jp
加入窓口は全国の全国知的障害児者生活サポート協会
傘下の各都道府県団体の事務局となります。
(A-000722 2018-03)

公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会